

目標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

12月号／2014年12月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

11月例会・第2回臨時総会

講師 元海上保安庁長官 現日本空港ビルディング(株)取締役副社長 鈴木久泰氏

■11月27日(木)19:00~ テーマ 「海上保安庁と羽田空港」 会場/いわき市生涯学習プラザ4階



寺主代表幹事 挨拶

本日は元海上保安庁長官を務められ、現在は日本航空ビルディングの取締役副社長の鈴木久泰さんにお越しいただきました。たいへんお忙しい中、心より御礼を申し上げます。

昨今、日本の周辺では中国、韓国、北朝鮮の船がやって来ては領海を侵し、その度にニュース等で報道されておりますが、日本の海を守る海上保安庁長官時代のお話を聴くことができ嬉しく思います。よろしくお願ひ致します。

【鈴木久泰氏 講演】

皆さんこんばんは。私は昭和28年いわき市好間村生まれで好間一小、好間中、磐城高校出身です。好中も磐高も高台にあり特にスポーツもしていませんでしたが体力には自信がありました。

◆誕生日プレゼント

ポイントセセニアが贈られました



左から寺主君男代表幹事 鈴木敏広さん(11月11日生)
鍛冶大輔さん(11月9日生)

吉田嘉徳さん(11月6日生)

海上保安庁と羽田空港

第1部 広大な海を守る海上保安庁

1 海の広さは世界第6位

日本の国土面積は世界第61位で38万km²、海の方は領海海岸線から12海里(海岸線より約22km)、その他の排他的経済水域(資源はその国のももの)200海里(370km)、この2つを足すと447万km²となり国土の12倍の広さがあつて世界6位となります。

ここで問題なのは、近い国どうしの場合は200海里が重なってしまう。その場合はその中間で線を引くことが世界のスタンダードになっています。従つて竹島自体はあまり価値のない島ですが、どちらの国の中のものかで、境界線が大きく変わってしまいます。

今、問題になっている尖閣諸島は1970年代に国連の調査が入り資源があることが分ると、“中国は台湾の島だ”と言い出し“台湾は中国のもの”だから中国ものだと言い出したのです。

その広い海を守っているのが海上保安庁です。北海道の第1管区から沖縄の第11管区まで日本の海を11区に分けて守っています。

2 全国組織のJapan Coast Guard

海上保安庁は海の警察と消防を兼ねている組織です。船、飛行機、ヘリコプター等を持ち違法操業など海上でのことは、大概何でもできます。海上保安庁の緊急電話は118番です。(くれぐれもお試しでは掛けないで下さい) 船は450隻、飛行機、ヘリコプター共で70機以上ありますが、それでもまだまだ大きな船が足りません。最近、中国船のサンゴ乱獲問題がおこりましたが、あのような時、特に不足していると感じています。

海上保安庁が最初に注目されたのは、北朝鮮の不審船との発泡事件です。結局最後は自爆して沈没しましたが、当時の扇大臣はその船を引き上げられ、現在は「船の科学館」に展示しています。最近では映画「海猿」で注目されています。

3 尖閣諸島の真実

平成22年9月7日尖閣諸島付近の日本の領海内で、30隻の漁船の違法操業事件が起き、海上保安庁はまず領海の外に排除しますが、その1隻が巡視船に当たってきました。

皆さんも流出した映像をご覧になったと思いますが、この中国船船長を公務執行妨害で逮捕しました。これに中国はレアアースの輸出を制限したり、中堅ゼネコンのブジタの社員の拘束という報復と思われる措置をとっていました。そこで日本国はその船長を

釈放してしまいました。この時のビデオ流出も問題になり結局神戸管区の海上保安官からということが判明し、謝罪と国会での答弁を経験いたしました。その後、尖閣諸島は国有化となり、その途端中国側は口実としてどんどん船を出してきています。元々尖閣諸島は1895年に明治政府が“日本の領土”と宣言し、戦前は古賀さんという方がかつおぶし工場をたて200人位住んでいました。戦後は海上保安庁が守っていました。

4 大震災対応とその後

大震災がおこりました。沖縄管区は尖閣専従、残り10管区はすべて救助に当たりました。

石巻の造船所から建造中の2隻の貨物船が流失し座礁し沈みそうとの要請を受け112人を救助致しました。後日談ですが造船所の人たちは船に逃げて助かったとのことです。その場にいたら津波にやられたとのことでした。海上保安庁の職員で殉職したのは1人でした。

第2部 再び世界へ羽ばたく羽田空港

1 羽田空港と日本空港ビルディング

昭和27年GHQより空港返還に伴い100%民間資本で日本空港ビルディング、現在私がいる会社です。現在は第1・第2ターミナルビルを運営しています。国際線は38%の持ち株で、免税店の運営等も行なっています。

2 羽田の再国際化

昭和53年成田空港が完成すると寂しい時代がありました。現在は仁川(韓国)での乗り継ぎにかわりハブ空港としての利用者が増加しています。

3 2020年オリンピック・パラリンピックに向けて

昨年9月に2020年オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、もっと便数の増加をさせる為、国は夕方3時~7時の間、東京上空を飛ばす計画をしています。これらのことことがオリンピックの先にどうつなげるのか問題だと思います。

鈴木久泰氏プロフィール(昭和28年3月31日生)

昭和50年3月 東京大学法学部卒業

昭和50年4月 旧運輸省入省(船舶局監理課)

平成17年8月 国土交通省大臣官房総括審議官

平成18年7月 航空局長

平成20年7月 海上保安庁次長

平成21年7月 海上保安庁長官

平成24年9月 国土交通省退官

平成25年1月 日本航空ビルディング株式会社 顧問

平成26年6月 同社 取締役副社長 現

先進地研修視察

フランス・マルクール原子力研究所施設視察報告

エネルギー政策提言

視察日	2014年10月4日～10月10日
視察地	フランス原子力・代替エネルギー庁(CEA) マルクール研究センター(マルクール原子力研究所)
意見交換会	パニヨール商工会議所 マルクール地方情報委員会
表敬訪問	JETROパリ
視察団	いわき経済同友会
視察団名	代表幹事 寺主 君男 副代表幹事 里見 潤 長谷川祐一 研修委員長 小松ひと美 幹 事 田村 哲郎 宮野由美子 会 員 吉田 美貴人 会 員 会川 文雄 村岡真理子 準会員 森田 勝次 中村 圭一 準会員 鈴木 芳彦

いわき市へ視察研修報告及び提言書提出
平成26年11月4日
場所 いわき市役所 市長室にて 10名により



視察の背景

いわき経済同友会は、2011年の原発事故後より福島第一原子力発電所の解体と廃炉に向け、原発特区導入などによる地域再生を図る活動を展開してまいりました。

今般、原子力発電所の解体・廃炉に関わる重要な情報(知識)を得る為、立地地域住民とのコンセンサスの構築、原子力施設の情報公開等について調査する為、会員、準会員12名による視察団を編成いたしました。原発先進国であるフランス、イギリス、アメリカの中から、南フランス・アヴィニュヨン近郊にある「フランス原子力・代替エネルギー庁(CEA)マルクール研究センター」を選び、視察致しました。(この度の視察にあたり、経済産業省・外務省・仏日本大使館・在日フランス大使館の方々にご尽力頂きましたこと熱く御礼申し上げる次第です。特に外務省欧州局西欧課 外務事務官 岡部佳享様には、現地との連絡、調整にご配慮頂きました。)

地平線までぶどう畠、農産物畠が続く農業大国フランスの、豊かな大地に囲まれたローヌ川沿の一角に、広大な敷地を有するマルクール原子力研究所があります。元々、フランス軍施設であることから、入所に際してのセキュリティーチェックは大変厳しく、広報写真も許可されない状況でした。施設規模は、従業員総数16,000人(毎日5,000人以上勤務)、年間総予算額39億ユーロに昇ります。国直轄による企業との連携、共同研究、そして大学及び研究機関との協定を結び、さらには地元との連携を密にし「研究・教育・経済発展」を掲げ運営されております。近くには世界遺産のポン・デュ・カール水道橋・法王宮殿、サン・ベネゼ橋などがあり、世界各国から多くの観光客が訪れる地でもあります。

大震災・原発事故以前には、浜通り地方は福島第一原子力発電所の雇用もあり、地元経済は潤っていました。しかし原発事故により地域経済は壊滅的な打撃を受け、未曾有の厳しい環境下に置かれています。今後、50年とも言われる原子力発電所の解体・廃炉を早急に進めるためにも、世界各国の原子力発電研究者、技術者(有識者)による国際原子力研究機関や国際廃炉研究開発機構等を誘致し、廃炉に向け新産業の集積を進め地域再生を図ることが求められています。そして、その使命は私達の双肩にかかっているとの強い危機感をもって取り組まなければなりません。

視察目的

いわき経済同友会は、東日本大震災、原子力発電所事故の被害を受けた地元企業として、地域の将来像を考える責任の一端を担っております。この困難な状況を開拓する一助として、福島第一原子力発電所の事故収束に向けた原子力発電所の解体・廃炉に向けた産業集積の構築が必要です。被災を受けた地域の除染処理・環境対策等の調査・研究、原子力関係の技術者・学生の人材育成を図る連携大学拠点の形成、さらには原子力施設の情報公開の推進など、課題は山積しております。この度の視察が浜通り地方はもとより、福島県全体の復興にむけて、未来を拓く一里塚とすること。

1. 地域経済再生、産業の創出・育成
2. 研究開発機能の強化
3. 生活環境、安心安全の確保
4. 将来に向けての人材育成
5. 情報公開

●第2回臨時総会開催●

議長に松崎副代表幹事を選出し、定足数確認後議事に入りました。平成27年度 次年度役員、組織について、里見副代表幹事が選考委員長となり検討を重ねた経過の説明と、次年度の組織の変更等の説明があり、直ちに決議に入りました。平成27年度 次年度役員、組織について拍手をもって承認されました。

次年度安島代表幹事からは「いわき経済同友会の培ってきた歴史の継続と、これからを見据え特に教育について皆様と共に勉強していきたい。ご協力をお願いしたい」との挨拶がありました。

■11月グループ会報告

資質向上研究グループ会

■日 時 11月15日(土曜日)8:00~

■場 所 栃木県那須郡方面

1 馬頭・広重美術館・・・本年9月(前期)に訪問した美術館館内では、秋季特別展「北斎と広重、二大巨匠の名品展(後期)」を見学する。

葛飾北斎「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」「凱風快晴」「山下白雨」等

神奈川沖浪裏は、大波の愛称で世界中の人々から親しまれている浮世絵。

凱風快晴は、赤富士と呼ばれる浮世絵、山下白雨は、雄大な富士山の上下で同時に起きている「快

晴」と「夕立」の浮世絵です。

歌川広重「滝見巡礼」「両都芸妓図 江戸」「信濃諏訪湖」等の名品展示に時間をわすれて素晴らしい芸術の世界を堪能しました。

2 創業300年の歴史をもつ宿とうなぎ料理のお店です。江戸時代・芦野宿の中心街にあった「丁子屋」の蔵座敷は那須町文化財に指定されています。

3 黒羽くらしの館・情緒あふれる古民家。当時の住まいと暮らしの移り変わりを見学。

4 錦秋の袋田の滝を見学し、地元のアユの塩焼きを堪能しました。



●平成26年度第二回新入会員オリエンテーション

会員増強委員会

開催日 平成26年11月25日(火)18:30~21:00 開催場所 いづみや

参加者 新入会員1名 代表幹事 担当副代表幹事 会員増強委員3名 計6名

代表幹事より、いわき経済同友会の創立の目的や、今日までの会の活動について具体的な説明があった。三つの目的のために異業種の組織の中で学ぶことの意義をしり、今後の活動への参加動機となった。また、会員相互の懇親を深めることができた。

12月公開例会

会場/いわき建設会館5階
講 師 I R I D 技術研究組合 国際廃炉研究開発機構
理 事 及川 清志氏
広報チーム長 伊藤 友宣氏

日時／12月5日(金)

会 例 食 17:40 講 演 会 18:30
会 18:10 懇 親 会 20:20
懇親会 天政 (会費:2,000円)

テーマ 「(仮)原子力発電所、廃炉に向けて」

1月通常例会

会場/いわき建設会館5階
講 師 福島大学准教授 工学博士 石川 友保氏
テーマ「(仮)小名浜港コンテナー貿易のあるべき姿について」

日時／1月22日(木)

会 例 食 18:00 講 演 会 19:00
会 18:40 懇 親 会 20:50
懇親会 天政 (会費:2,000円)

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます
●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F 発 行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211 編 集 情報委員会 委員長 小野英典
http://www.seaiwaki.jp 副委員長／坂本和久・田村慎太郎・馬場学
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp 山崎勇一郎